

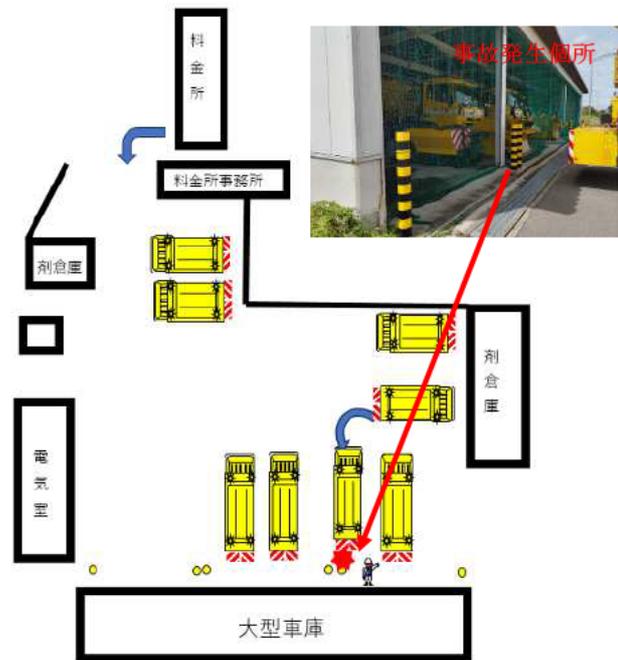
工事中事故報告書

1. 発注（報告）機関	名古屋支社 ■■■ 保全・サービスセンター (立会者) —					
2. 工事名	2023年度 名神高速道路 ■■■ 管内維持修繕業務					
3. 発生日時	2023年9月2日(土) 9時25分頃 (天候：晴)					
4. 発生場所	E1東名高速道路 春日井IC雪氷基地 内プラ (地先, IC間, 測点など)					
5. 工事の概要	(1)会社名 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株 (契約者所在地) 愛知県名古屋市中区錦1-18-22 名古屋ATビル9F (2)発注区分 (指名) 本社, 支社, 保全・サービスセンター (3)工期 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (4)請負金額 _____ 円(税込) (5)述べ労働時間 _____ 時間					
6. 事故の状況	東名集中工事のセーフティーカーが春日井雪氷基地帰着後、駐車の際バックした際に緩衝装置の後部左側を車庫の支柱防護にぶつけ損傷させたもの。自走可能、負傷者なし。					
7. 被災状況 (公衆損害事故については、その第一原因者についても記入すること。)						
公衆, 作業員 などの区別	(ふりがな) 氏名	性別 年齢	職種 経歴	当現場 の経歴	被災者の住所 所属業者名(本社所在地) 元請との関係	負傷 程度
運転手						なし
-	-	-	-	-		-
(物損状況)						
人的：被害なし 物損：セーフティーカー緩衝装置 後部左側へこみ、車庫支柱防護の塗装剥がれ 道損：なし						
8. 事故に対する所見 (原因考察, 警察・労基署の所見など)	バックする際にバックミラーのみを注視し、バックモニターを確認していなかった。また、助手によるバック誘導をしていたが、運転手に停止合図が伝わらなかったもの。					
9. 事故発生後の処置	9:25頃 事故発生、 9:30頃 春日井基地連絡員からメンテへ報告 9:32頃 メンテから保全計画課長へ報告(所長・副所長へ報告) 10:14頃 支社保全計画課長へ報告 14:00頃 緊急安全大会(春日井雪氷基地・養老雪氷基地)					
10. 取材及び報道	なし。					
(本業務の本件までの事故状況) _____ 件, うち死亡 _____ 件, 重軽傷 _____ 件, 物損その他 _____ 件						

① 位置図



状況図



車両損傷写真



防護支柱損傷写真



② 原因

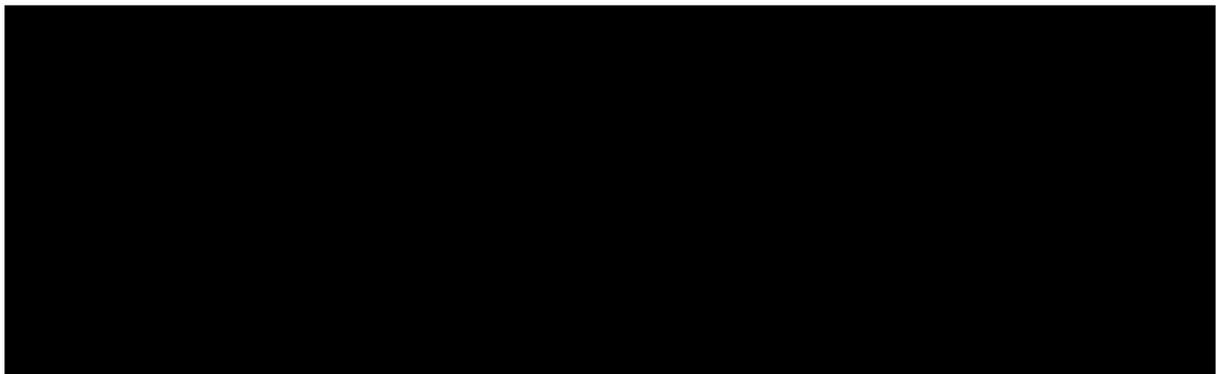
- ◆運転手はバックする際にバックミラーのみを注視し、バックモニターを見ていなかった
- ◆助手が声掛けでバック誘導をしていたが、停止合図がうまく伝わらなかった。

③ 対策 (即時)

- ◆バックをする前に、運転手と助手で周囲に障害物がないかを確認する。
- ◆バックをする際に、バックモニターの活用を推進する (くせづける)
- ◆運転手と助手で、あらかじめ合図について打合わせを行い、緊急時には警笛により合図を実施する。(注意喚起の合図を決めておく)
- ◆今回の衝突箇所については、余裕をもった位置にラバコーンを配置することで停止位置を明確にする (右写真)



④ 安全大会実施状況



⑤ 追加対策

◆バック誘導方法及び訓練の実施 (9月4日 10:30~11:30)



バック誘導方法及び警笛の確認

バック誘導訓練の実施

◆バタ角による車両停止位置の明示と車止め

即時対応で行ったラバコーン配置に加え、後輪停止位置に車止めとしてバタ角を配置した。



(左側後輪位置、視認性向上のため黄色ペイント、土のう固定)

◆現地訓練会の実施検討【より持効性のある取組みにするため今後詳細を検討】

雪氷及び集中工事の実施前に、基地毎に基地内ヤードでの車両の動線、車庫入れや材倉庫への進入・退出時などの助手による誘導などについて確認と訓練を行うこととし、その訓練の実施方法などについて検討を開始する。